



前

~13
2378
301

立川素馬拔合
西來居木佛作
觀歌川國安畫

森屋清兵衛版

巳丑年
新板



遠 84特
2378
302

忠臣合鏡前編

西來居未佛作 全部六冊

蓬萊山人校合 合卷二本

歌川國兼畫圖 馬喰町二町

文政己丑正月發販

自森治板

壹

佳者有為不為食其味或不知忠臣藏の大序
 知者有為不為食其味或不知忠臣藏の大序
 厨を以本膳の香物を以本膳の香物を以本膳の香物
 筆を以本膳の香物を以本膳の香物を以本膳の香物
 句戲の流の申考の原素豆原素の耳學子文を昔の人
 國文の合鏡と題する此一卷の故也長吉代といふと
 山作者合鏡と題する此一卷の故也長吉代といふと

文政十二己丑歲孟春發行 西來居未佛誌



如
み乃
な
と
未佛

香保代の前
塩屋判官奥方

男舞の
師匠
侍
従



北
ま
き
次
舟
に
舟

高階
武藏守
師直
元来
高階氏
人呼
高
師直

合



泉川
紀伊國屋文左衛門

蓮菜山人
伏見撞木町
一力屋遊女
菊堂



塩屋高良忠臣
大西藏人良連

良連の奴僕
早野
三平



師直の家臣宇野九郎兵衛悻
宇野仇九郎

大西良連の妻
石巻



山盗魁首
松浦五郎正胤

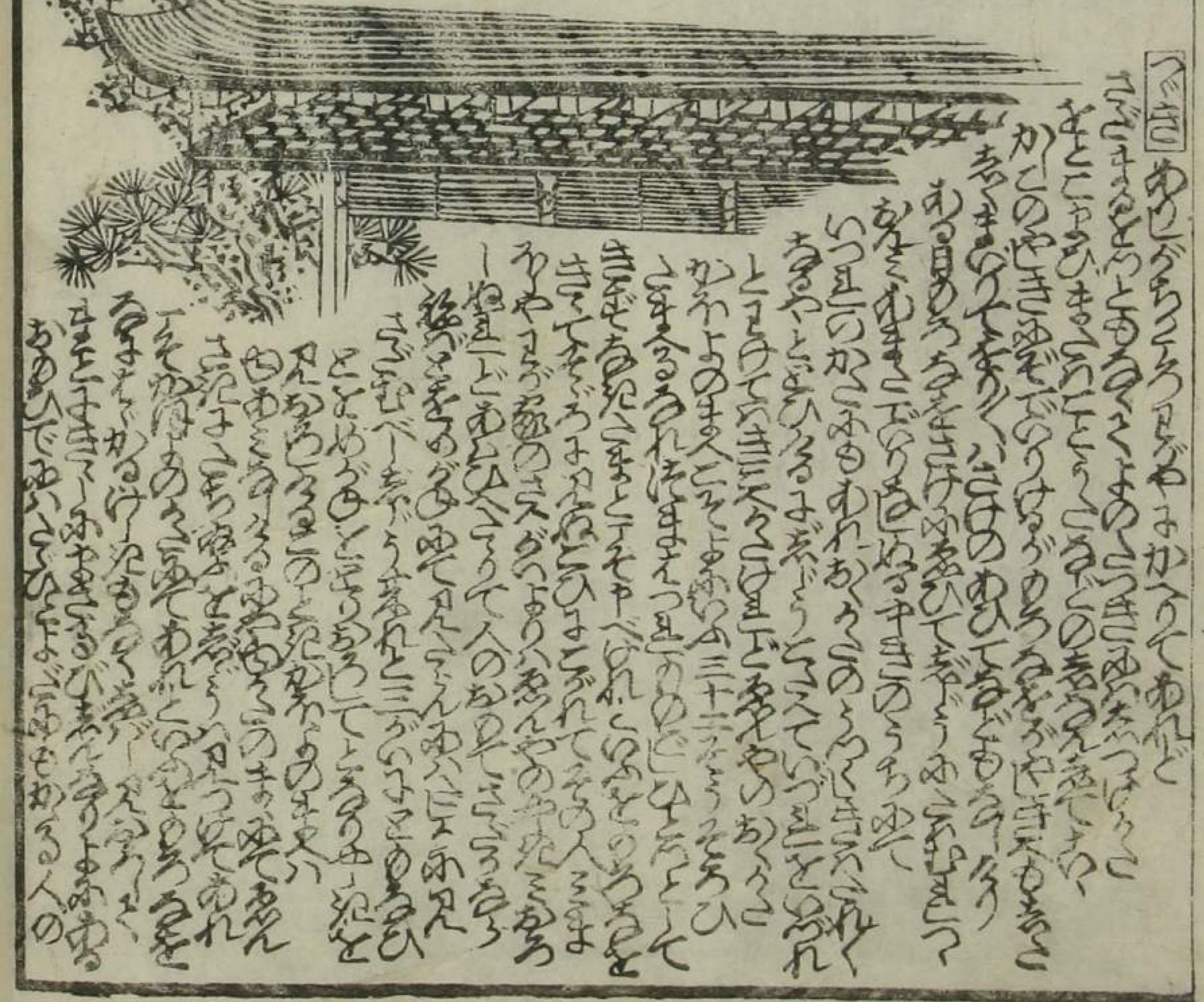
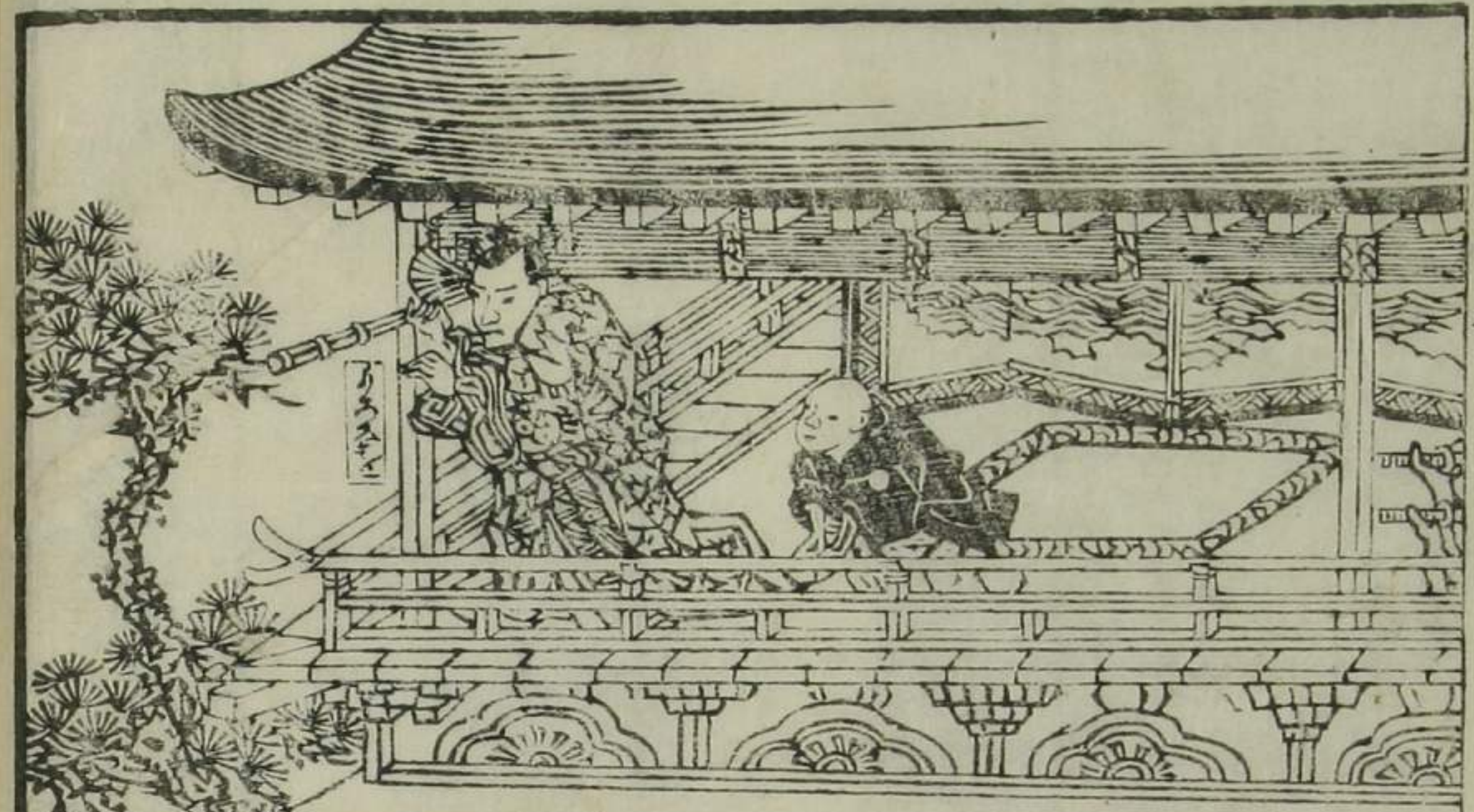
紀伊國屋文左衛門
妹小波



此の書は、
 江戸の
 浮世草子
 といふ
 名目にて
 刊行せられたる
 書物なり
 其の
 内容は
 浮世の
 人情を
 描きたる
 事なり
 其の
 筆調は
 簡明にして
 面白き
 事なり
 其の
 内容は
 浮世の
 人情を
 描きたる
 事なり
 其の
 筆調は
 簡明にして
 面白き
 事なり



此の書は、
 江戸の
 浮世草子
 といふ
 名目にて
 刊行せられたる
 書物なり
 其の
 内容は
 浮世の
 人情を
 描きたる
 事なり
 其の
 筆調は
 簡明にして
 面白き
 事なり
 其の
 内容は
 浮世の
 人情を
 描きたる
 事なり
 其の
 筆調は
 簡明にして
 面白き
 事なり







Handwritten Japanese text in the upper left corner, written vertically.

Handwritten Japanese text in the lower left corner, written vertically.



Handwritten Japanese text in the upper right corner, written vertically.

Handwritten Japanese text in the lower right corner, written vertically.

Vertical text on the left margin of the left page.

Vertical text on the right margin of the right page.





合の
大に...
三...
カ...



三
大に...
カ...







Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, positioned above the illustration on the left page.



Small handwritten text or characters located at the bottom left corner of the left page.



Vertical handwritten text or characters on the right edge of the right page.

Handwritten text in the top right corner of the right page.



Vertical columns of handwritten text on the right side of the illustration.

Vertical columns of handwritten text on the left side of the illustration.



Vertical columns of handwritten text on the right side of the illustration.

Vertical columns of handwritten text on the left side of the illustration.

未佛作



田

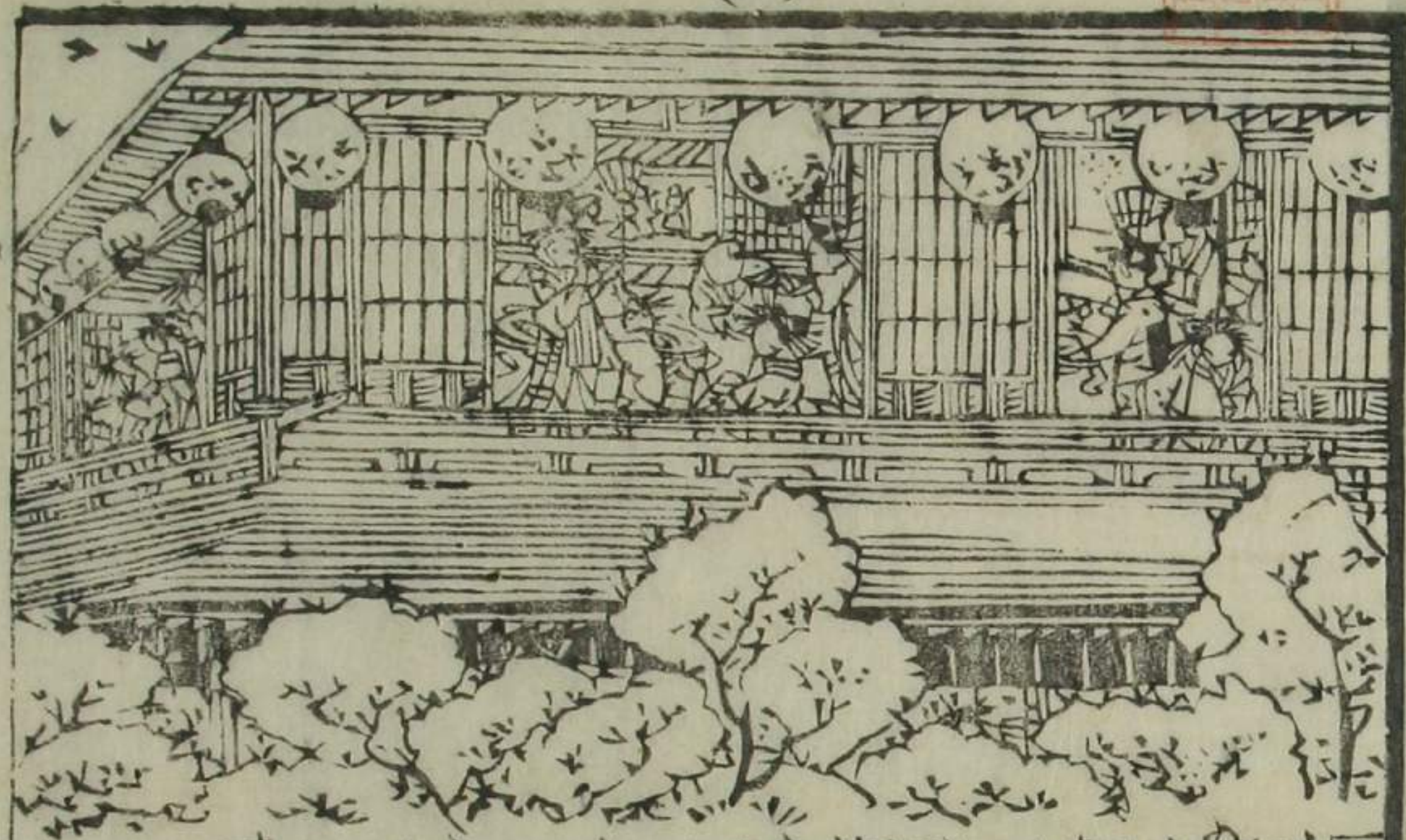


忠臣藏合鏡
前後
六冊

後



四



Small vertical text columns, likely a transcription or commentary related to the illustration above.

蓮華山人校

忠告

浮見

河津家の

未併作

言

園道

本治板

西長新板



大西

大西



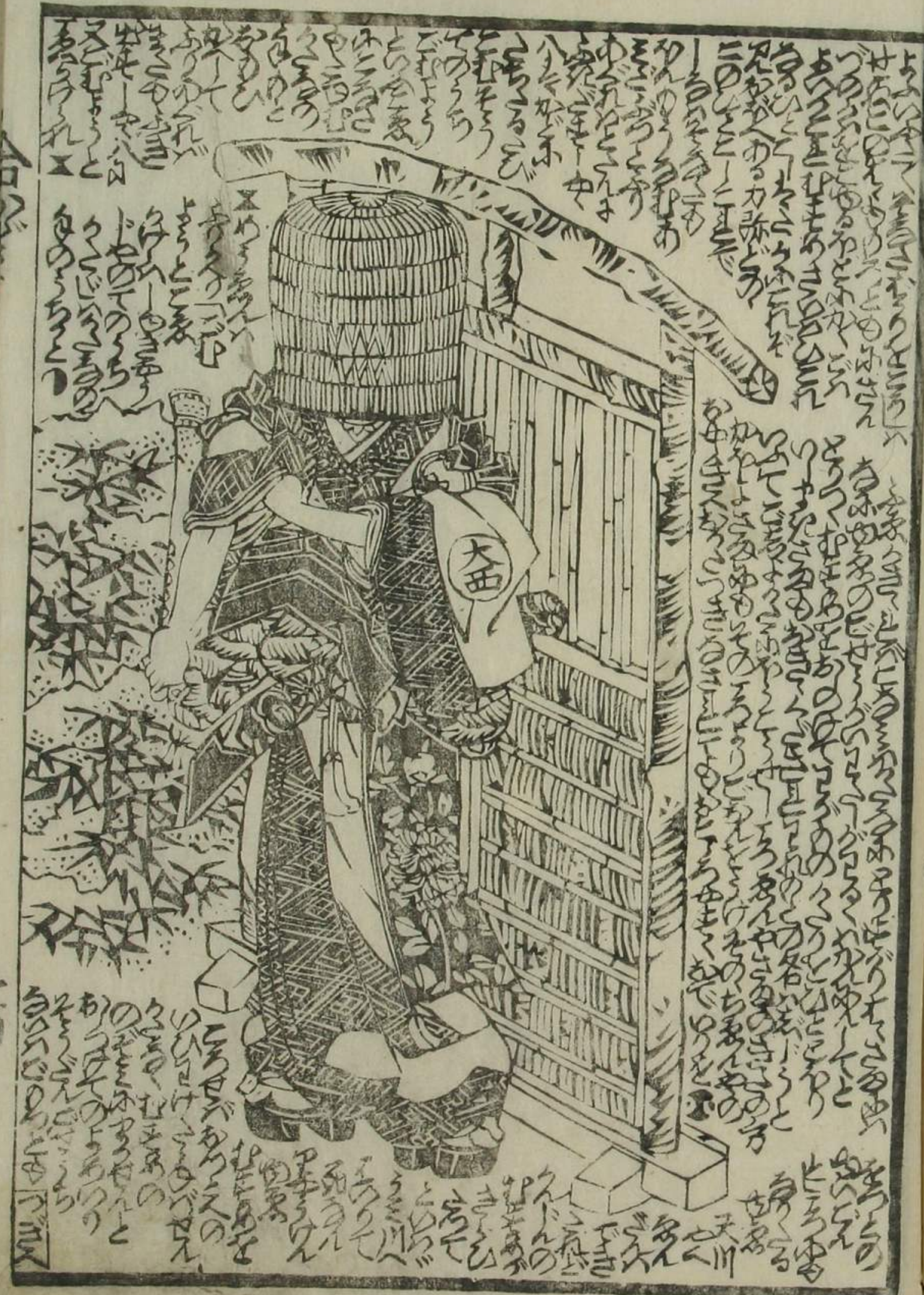
大西

大西





















五十四
四十五
三十四
三十五
三十三
三十二
三十一
三十
二十九
二十八
二十七
二十六
二十五
二十四
二十三
二十二
二十一
二十
十九
十八
十七
十六
十五
十四
十三
十二
十一
十
九
八
七
六
五
四
三
二
一



三十三
三十二
三十一
三十
二十九
二十八
二十七
二十六
二十五
二十四
二十三
二十二
二十一
二十
十九
十八
十七
十六
十五
十四
十三
十二
十一
十
九
八
七
六
五
四
三
二
一

蓬萊山人校西來居未佛作歌川國兼画

此の巻は、蓬萊山人の校訂による、西來居未佛の作による歌川國兼の画である。巻の冒頭に、蓬萊山人の序文が記されている。序文には、西來居未佛の画の特色や、蓬萊山人の校訂の経緯が述べられている。また、巻の末尾には、歌川國兼の略歴や、西來居未佛の略歴が記されている。

四女の美艷仙女香深八女
 黒油美玄香深八女
 晴雨両天傘
 坂本氏製



華耕 紫嶺 仙橘

西來居 小像 友人 兩五

風俗金魚傳上編 全八冊
 歌川國安画

小菊繪圖自慢 藝者寄氣 全六冊
 五渡亭國貞画

玉屋新兵衛榻臥 全四冊
 志満山人作 哥川國信画

立川馬合 西味居未佛作
 忠臣藏合鏡 全六冊
 哥川國兼画

白山の草鞋十九編 全冊
 十返舎九作 北尾重政画

湯殿山の草鞋二十編 全冊
 十返舎九作 哥川國安画

先彫目録
 初編 浮見物。二編 未ゆら。三編 伊豆京夜。
 四編 四葉巻。五編 赤巻。六編 赤巻。
 七編 赤巻。八編 越後。九編 赤巻。
 十編 赤巻。十一編 赤巻。十二編 赤巻。
 十三編 赤巻。十四編 赤巻。十五編 赤巻。
 十六編 赤巻。十七編 赤巻。十八編 赤巻。
 十九編 赤巻。二十編 赤巻。

蓬屋 森屋治兵衛板元

